

聖母の小さな学校 通信

第 63 号
2012 年
2 月 1 日発行
聖母の小さな学校

自分の希望する進路を実現するために、 学校という社会へ出ていくために、すべきことは何か。

雪の降る日が多くなりました。聖母の小さな学校は遠隔地からの通学生が多いので、その安全を図るために休校にすることが度々ありました。生活する上では雪は厄介なものですが、また、とても美しく感動的なものでもあります。生徒と楽しむことも忘れないようにしたいと思います。

中学 3 年の生徒は、今の自分が立っている場にふさわしい進路、すなわち、自分の進むべき道として、高等学校で学ぶことを選びました。高等学校で学ぶ、ということは、今、自分の中学で学ぶこととほぼ同じです。自分が今から持とうとしている学校という社会は、一度拒否した社会です。従って、その社会と和解しなければなりません。聖母の小さな学校に入ってからずっと自分を見つめ、自分の不登校を避けないでしっかりと見る訓練をしてきました。そして、自分の課題をつかみ、取り組みました。これが「自己との和解」です。この、自己との和解があって初めて学校という社会と和解ができるでしょう。人の中に入り、人と共に学ぶ力を最後まで付けたいものです。もちろん、入学試験に向けて、今までしたことがないほど勉強もしなければなりません。全力で、希望する進路を実現しましょう。又、保護者の皆さんも子どもと真剣に話すことができ、良いことでした。この「子どもと心を開いて話ができた」という体験を大事にし今後も続けてほしいと思います。

子どもの進路は、子ども 1 人に責任があるものではありません。子どもをしっかり育てる親としての責任があります。子どもの決定もその中に入ります。親も子も真剣で聖母の小さな学校に通い、学んでゆきましょう。又、生徒たちは、原籍校への別室登校ができるようになり、中間テストも一部受けることができました。これも、社会と和解するプロセスです。又、生徒たちは雪の中、西舞鶴駅から天台の聖母まで、歩いて通えるようになりました。これからも、この和解のプロセスを更に進めてゆきたいと思います。

<2月の主な行事予定>

4日(土) 教員研修会 13:30~ 於: 聖母の小さな学校

「不登校生徒とのかかわりを通して学んだこと」

舞鶴市立和田中学校校長 田中 正信 先生

※ 是非、ご参加ください。

13・27日(月) 茶道教室

14日(火) 華道教室

15日(水) 陶芸教室「卒業制作」

16・22日(木・水) 中国語講座

24日(金) こひつじの苑ボランティア

月例保護者会 19:30~